

The background of the slide is a reproduction of Leonardo da Vinci's 'The Last Supper' fresco. The scene depicts Jesus Christ seated at the center of a long table, surrounded by his twelve apostles in a room with a grid-patterned ceiling and arched windows. The text is overlaid on the central part of the image.

西洋美術史ゼミ

第12回

新古典主義・ロマン主義・写実主義

発表者 あまづん

発表者について

あまずん

Twitter : @quii_w (メイン)

@amazuunsc (サブ)

理系の大学生 (数学専攻) をやっています。

近代以降の美術史や思想史、現代美術について
興味があります。



ゼミについて

- 週1回程度で美術出版社「増補新装 カラー版 西洋美術史」を一章ずつ読み進め、内容をまとめ発表します。
- また、高校世界史に沿う形で当時の出来事についても説明します。
- そのため、世界史と美術史を同時に学ぶことができるため、歴史が好きな方も美術が好きな方も学びを深めることができます。



前回の内容(1)

- **バロック美術**がイタリアから始まり、ヨーロッパ諸国に広がりました。**カトリック改革**を背景に美術が発展していききましたが、オランダでは市民の影響力が強まり**世俗的な絵画**が多く描かれました。
- 18世紀フランスでは、バロックとは対照的な**軽妙洒脱な様式**である**ロココ美術**が生み出され、華やかな文化が営まれました。



ベラスケス 《教皇インノケンティウス10世》

前回の内容(2)



カラッチ 《豆を食べる男》



スルバラン 《壺のある静物》

前回の内容(3)



ルーベンス 《キリスト昇架》



フェルメール 《真珠の耳飾りの少女》

前回の内容(4)



レンブラント 《夜警》



ロラン 《海港（メディチ邸）》

本日の内容

世界史について

- フランス革命とナポレオン
- 19世紀のヨーロッパ文化

美術について

- 新古典主義

全体の概略

- 19世紀の象徴的な出来事として、**フランス革命**があります。**ナポレオン**の活躍もあり、革命によって絶対王政が覆され、市民社会が形成され始めました。
- この時代の美術はフランスが舞台の中心となり、フランスの趨勢に応じて美術様式は区分されています。具体的には、ポンペイ遺跡の発掘をきっかけとする**新古典主義**、ナポレオンのプロパガンダとしての**ロマン主義**、産業革命による経済格差の影響を受け、ありふれた現実に美を見出した**写実主義**の三つです。
- 今回は歴史メインで、新古典主義までを扱います。

本日の内容

- 世界史：フランス革命とナポレオン
- 美術史：新古典主義

フランス革命とナポレオン：構成

- 構成は次の通りです。
 - ① 概略
 - ② 革命以前のフランス社会
 - ③ 革命の勃発と立憲君主制の成立
 - ④ 革命の激化
 - ⑤ 革命の終焉とナポレオン登場
 - ⑥ ナポレオン政権

フランス革命とナポレオン：概略

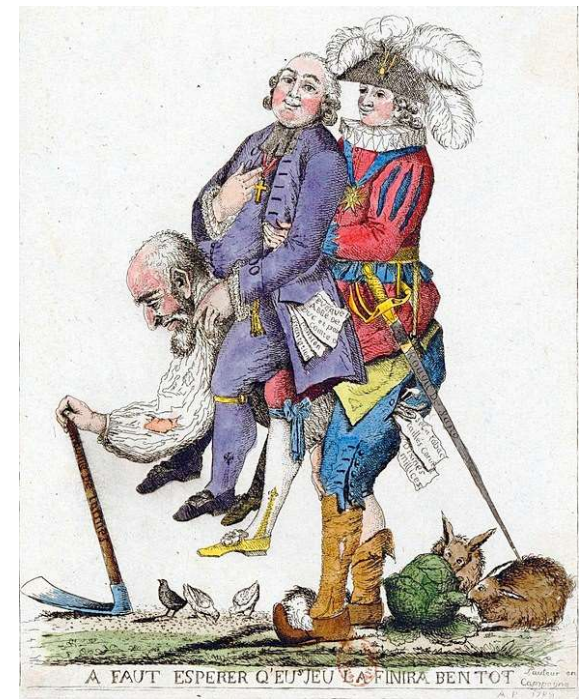
- 1789年、**フランス革命**が起こりました。これは徹底的な市民革命で、**絶対王政**が行われていたフランス社会を根底から変革するものでありました。そして、これは**近代社会成立への転換点**ともなりました。
- この革命で大きな役割を果たしたのは**ナポレオン**です。革命が終結した後、彼は皇帝に即位して**第一帝政**が開始されることとなります。



ダヴィッド 《サン＝ベルナール峠を越えるボナパルト》

革命以前のフランス社会

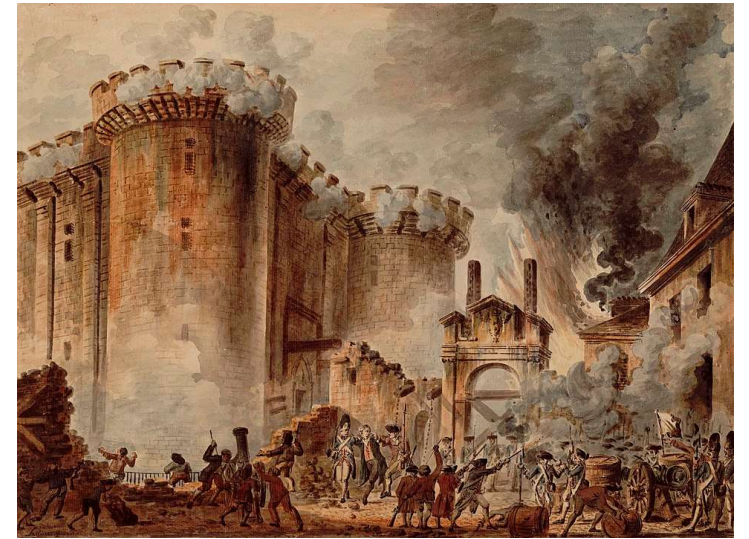
- 革命以前の絶対王政下におけるフランスの政治制度を**アンシャン・レジーム**（旧制度）という。
- 身分は第一身分（聖職者）、第二身分（貴族）、第三身分（平民）に分かれていたが、人口の2%である第一、第二身分が特権的な地位を占め、平民は不満が募っていた。
- また、ルイ16世がアメリカ独立戦争に参加したことで**財政が完全に破綻した**。



アンシャン・レジームの風刺画

革命の勃発と立憲君主制の成立(1)

- このような状況下で**三部会**（身分制議会）が開かれたが特権身分と平民が対立し、第三身分代表はこれを離脱し**国民議会**を結成した。しかし、国王と貴族は武力で議회를弾圧することとなる。
- 1789年、民衆はこれに反発して、圧政の象徴であった**バスティーユ牢獄を襲撃**した。これがフランス革命の発端となり、全国での農民蜂起を誘発した。



ジャン＝ピエール・ウーエル 《バスティーユ襲撃》

革命の勃発と立憲君主制の成立(2)

- その後、国民議会は**封建的特権の廃止**を決定し、**人権宣言**を採択した。
- その後、議会は市民の求める数々の改革を行ったが、一方で国王はオーストリアへの逃亡を企てたことなどから信頼は大きく損なわれていた。
- 1791年に**立憲君主制を定めた憲法を採択**し、国民議会は解散した。そして、憲法に基づき国民議会に代わり**立法議会**が成立することとなった。



By Milky - Museum of the French Revolution, CC BY-SA 4.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=78860432>

人権宣言のプリント

革命の激化(1)

- 立法議会では、革命のこれ以上の進行を望まない**立憲君主派**と、穏健な**共和制**を主張する**ジロンド派**が対立した。
- 国内外での反革命の動きが活発になるとジロンド派が政権を握り、革命に敵対的な**オーストリアに宣誓**した。
- フランス軍は連戦連敗し、フランス国内への侵入を許したものの、義勇軍が編成され**ヴァルミーの戦い**で初めて勝利した。

• 立憲君主制

→君主が憲法の制限を受ける政治体制。

• 共和制

→主権が君主以外にある政治体制。主権が政党である場合などもあり、民主制とは限らない。

革命の激化(2)

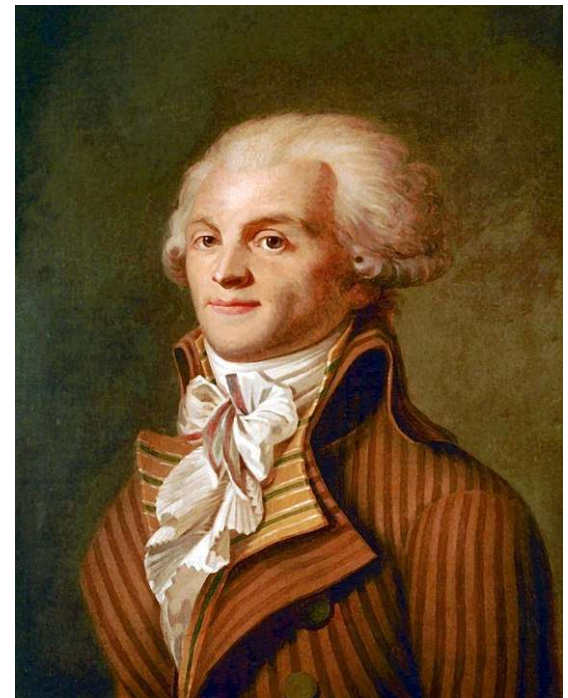
- また、義勇軍は国王を襲い**王権を停止した**。そして、一院制議会である**国民公会**が成立し**王政の廃止と共和制の樹立**を宣言した。これを**第一共和政**と呼ぶ。



ヴェルネ 《ヴァルミーの戦い》

革命の激化(3)

- 国民公会では急進共和主義の**ジャコバン派**が勢力を増し、ジロンド派と対立。1793年にジャコバン派はジロンド派を国民公会から追放し、**独裁権**を握った。
- 当初ジャコバン派の指導者であったマラーが暗殺され、**ロベスピエール**が中心となり急進的政策を進めた。これらの改革に反対するものは処刑されたため**恐怖政治**と呼ばれた。



ロベスピエール

ダヴィッド 《マラーの死》



革命の終焉とナポレオン登場(1)

- 恐怖政治を行っていたロベスピエールであったが、1794年にクーデターが起こり処刑された。
- ジャコバン派は没落し、**穏健共和派**が有力となった。そして、1795年に新しい憲法が制定され、国民公会が解散されて**総督政府**が樹立された。

議会のまとめ

1. 三部会
2. 国民議会
3. 立法議会
4. 国民公会
5. 総督政府
6. 統領政府 (後述)

革命の終焉とナポレオン登場(2)

- しかし社会不安は続いており、市民は**社会の安定を望んでいた**。
- こうした状況のもと、混乱をおさめる力を持った軍事指導者として**ナポレオン=ボナパルト**が注目されるようになった。



ダヴィッド 《サン=ベルナル峠を越えるボナパルト》

革命の終焉とナポレオン登場(3)

- ナポレオンはイタリアやエジプトに遠征し名声を高めていたが、イギリスがロシア・オーストリアなどと同盟を結び（**第2回対仏同盟**）、フランスが危うくなると本国に帰還した。
- 帰国後、彼は同盟の侵略により支持を失っていた総裁政府に対し**クーデターを起こした**。そして三人の統領からなる**統領政府**を立て、第一統領として事実上の独裁権を握った。これにより、10年間におよんだ**フランス革命はここに終了した**。



François Bouchot 《ブリュメール18日のクーデター》

ナポレオン政権

- ナポレオンは革命以来フランスと対立していた**教皇やイギリスと和解**した。また、財政の安定や商工業の振興、公教育制度を整備した。
- このような活躍により、国民投票で圧倒的な支持を受けナポレオンは**皇帝に即位**し、ナポレオン1世と名乗るようになった。これを**第一帝政**と呼ぶ。



ジェラール 《ナポレオン1世》

ナポレオンの大陸制覇

- ナポレオン帝政の誕生に対抗し、イギリス・オーストリア・ロシアは**第3回対仏大同盟**を結んだが、ナポレオンは**トラファルガーの海戦**などで同盟を打ち破った。
- また、他の地域とも同盟や条約を結ぶことによって、**ヨーロッパ諸国をほぼ支配下においた。**



ターナー 《トラファルガーの海戦》

ナポレオンの没落(1)

- ナポレオンの征服に対して、周辺諸国では**民族意識**が成長した。
- これにより、スペインやプロイセンなどで反乱が起こった。また、ロシアも条約を無視して貿易を行ったためナポレオンは**ロシアに遠征したが失敗**。彼はその後も敗れ、エルバ島に流されることとなった。



スホドルスキ 《ベレジナ川を渡るフランス軍》

ナポレオンの没落(2)

- その後エルバ島を脱出して皇帝に復位したが、**ワーテルローの戦い**で大敗した(**百日天下**)。そのため再び島流しに遭い、この地で死去した。



スチューベン 《ナポレオンの帰還》

本日の内容

- 世界史：フランス革命とナポレオン
- **美術史：新古典主義**

新古典主義：構成

• 構成は次の通りです。

- ① 19世紀の美術
- ② 新古典主義概略
- ③ ダヴィッド
- ④ グロ
- ⑤ アンゲル
- ⑥ ジョン・フラクスマン

19世紀前半の美術

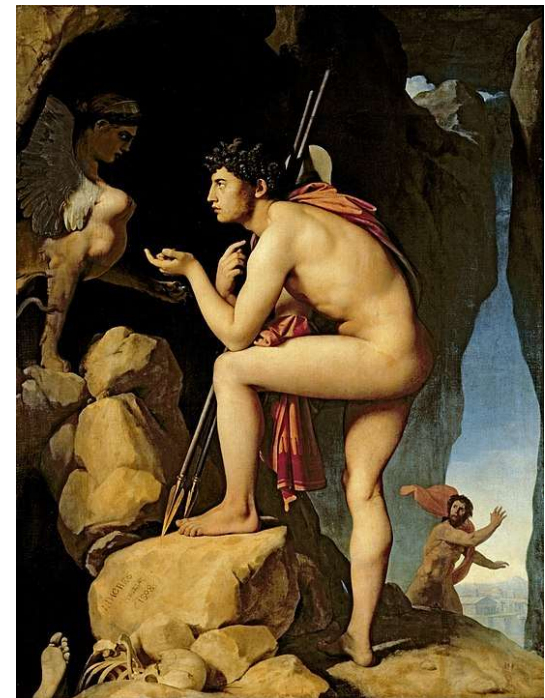
- 19世紀前半には、**新古典主義**、**ロマン主義**、**写実主義**の三つの美術様式が成立した。当時の美術の中心地はフランスであったため、フランスの趨勢に応じてこの区分がなされるようになった。
- 知識人や資本家といった、**市民の視点を持った人々**により美術は変革され、市民社会の価値観に基づいた作品が生み出されたことが特徴であり、これが近代芸術の成立である。



ドラクロワ 《民衆を導く自由の女神》

新古典主義(1)

- **新古典主義**とは、ルネサンスと同様に**古代ギリシア・ローマの美術を規範**としようとする運動である
- 芸術家は**規範美と考古学的な正確性**を目指すことが要求され、**理性と倫理観**が重視された。
- 造形的に重要視されたのは**輪郭線**であった。自然界に存在しない輪郭線はそれゆえに事物の本質をとらえて純化し、理想的芸術表現へと昇華させる手段となると考えた。



アンゲル 《スフィンクスの謎を解くオイディプス》

新古典主義(2)

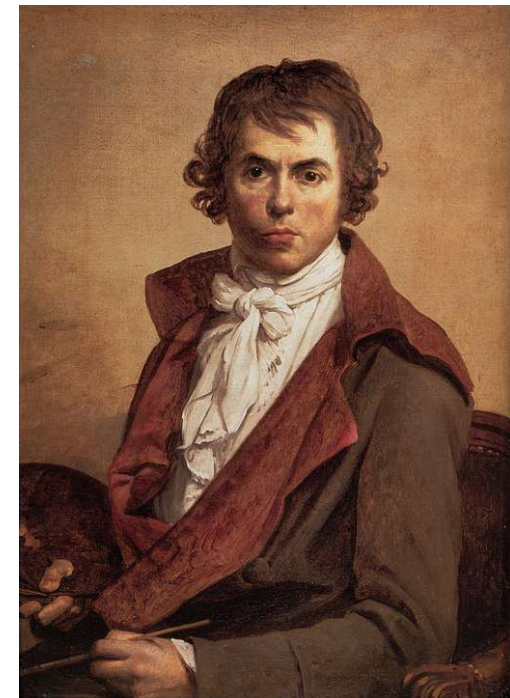
- 18世紀前半に行われた、ローマ時代の町ヘルクラネウムとポンペイ遺跡の発見がきっかけではあったが、そのベースにあったの**反ロココ美術**で、それはつまり享楽主義的な内容と感覚的な様式に対する**批判と反省**であった。
- 絵画においては**ダヴィッド**、**アングル**、**グロ**などが有名であるが、**ジョン・フラクスマン**の版画作品も注目に値する。



アングル 《玉座のナポレオン》

ダヴィッド(1)

- 新古典主義はフランスの文化政策によっても牽引され、絵画においては**歴史画**を描く動機づけがあった。
- **ダヴィッド**はこの政策が生んだ最大の歴史画家であり、新古典主義を代表する画家でもある。
- 彼の代表作は『**マラーの死**』『**ソクラテスの死**』『**ナポレオン一世の戴冠式と皇妃ジョゼフィーヌの戴冠**』である。



ダヴィッド 《自画像》

ダヴィッド(2)

- 彼の歴史画は**彫刻のようなポーズ**が特徴で、また主題もソクラテスの死など（ロココと比較して）骨太のものが多かった。
- さらに、彼の功績として**歴史画の題材に現代史を取り入れた**ことが挙げられる。臨場感あふれるその表現は、寓意的で静的な従来の歴史画とは一線を画すものであった。



ダヴィッド 《ソクラテスの死》

ダヴィッド(3)



ダヴィッド 《ナポレオン一世の戴冠式と皇妃ジョゼフィーヌの戴冠》

グロ

- **グロ**と**アングル**はダヴィッドの弟子であり、新古典主義絵画を描いた。
- **アントワーヌ＝ジャン・グロ**はナポレオンの肖像と遠征の絵で画壇にデビューしたが、後世の王政復古期に師の古典主義的な教えと自身のロマン主義的な素質との板挟みになり自殺した。
- 彼の特徴はそれまでにない生々しい表現であり、代表作は『**アイラウの戦いにおける、野戦場のナポレオン1世**』である。



グロ 《アイラウの戦いにおける、野戦場のナポレオン1世》

アングル(1)

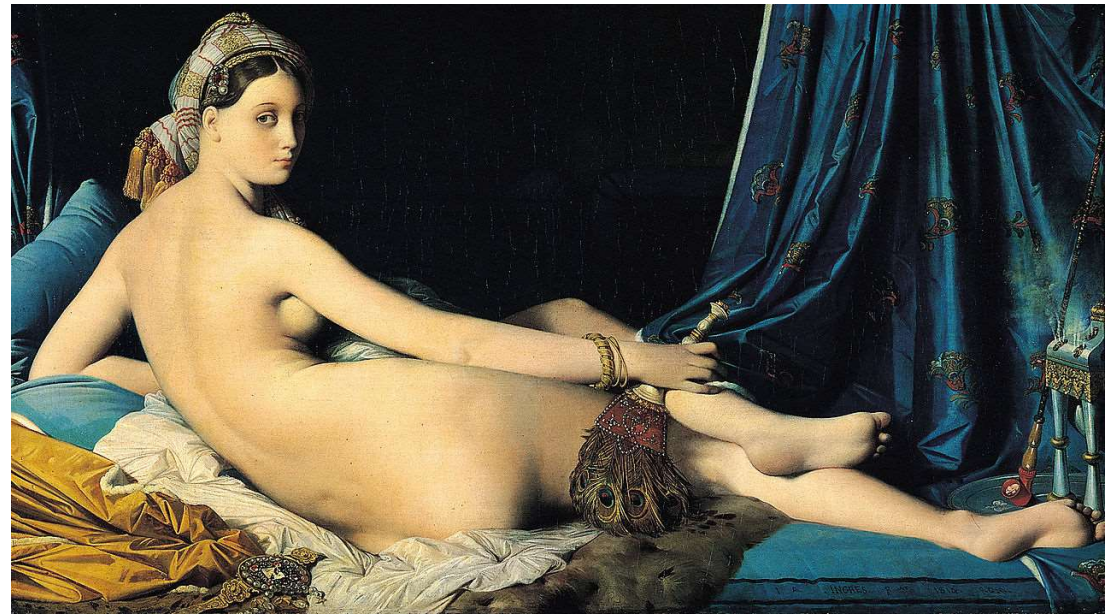
- **アングル**はロマン主義の世代はあったが、新古典主義絵画を描いた画家であった。
- 彼は**線の優位と静的な構図**の新古典主義的な絵画を描き続けたが、これは古典主義的な理想美によるものではなく彼の美意識によるものであり、純粋な線の効果を重視した。



アングル 《自画像》

アングル(2)

- この線の優位は代表作の『**グランド・オダリスク**』に明らかで、この人体は胴が長く関節も感じられないが、官能的な女性美を美しく表現している。
- 他にも『**スフィンクスの謎を解くオイディプス**』や『**泉**』などが有名である。



アングル 《グランド・オダリスク》

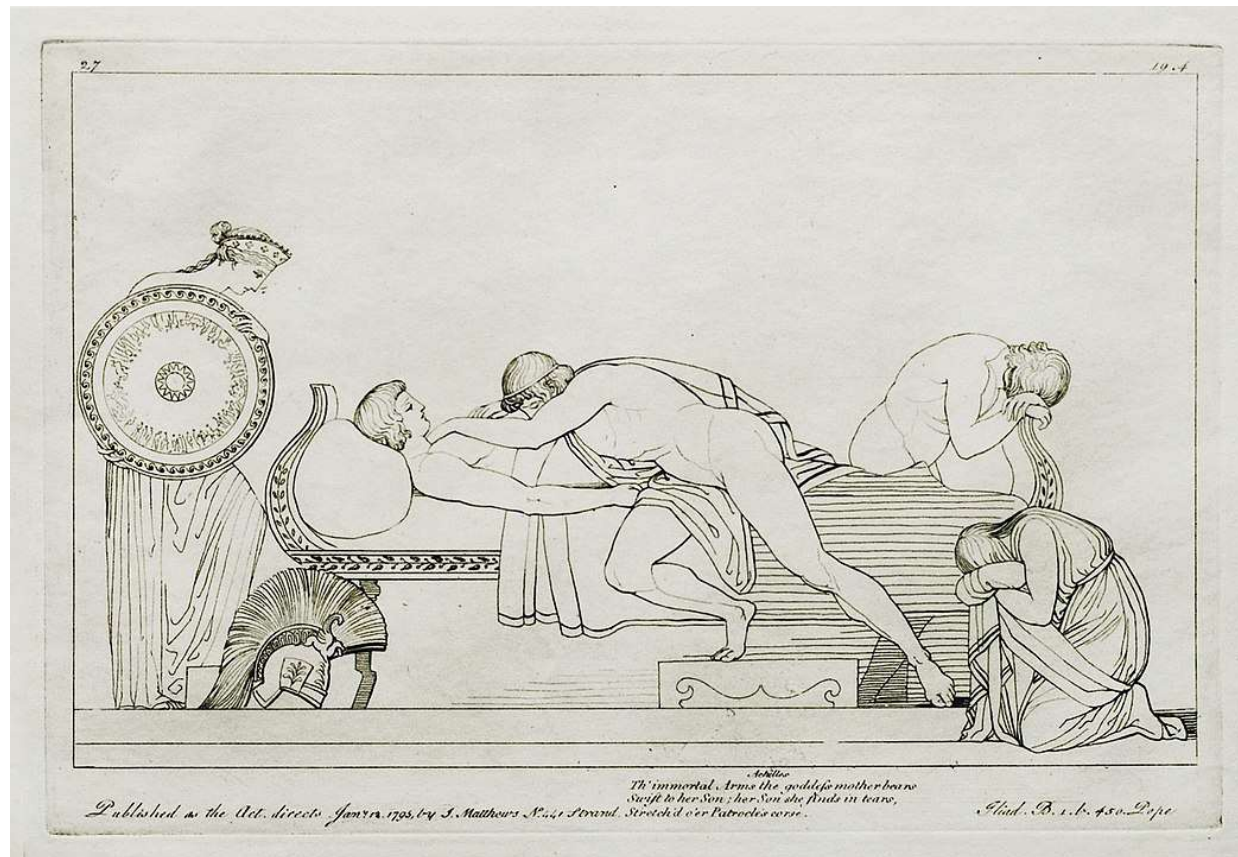
ジョン・フラクスマン(1)

- **ジョン・フラクスマン**はイギリスの彫刻家だが、ギリシャ神話を題材に描いた独特のイラストレーションでも知られる。
- 彼は彫刻の分野で主に活躍したものの、ホメロスの『イーリアス』『オデュッセイア』の挿絵を描き、**輪郭の線画**を特徴とするイラストレーションが人気を博した。



フラクスマン 《オデュッセイアの挿絵》

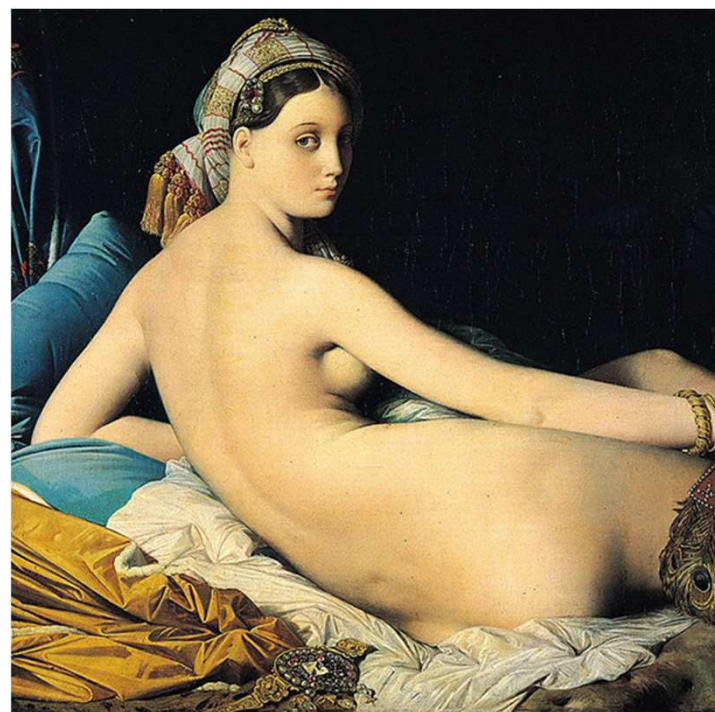
ジョン・フラクスマン(2)



フラクスマン《アキレウスに武器を与えるテティス》

本日のまとめ

- 19世紀に**フランス革命**が起こりました。身分格差と財政危機を原因とするこの市民革命により、封建的特権が廃止され、また共和制が成立しました。その後**ナポレオン**の台頭により帝政が開始されましたが、周辺諸国からの反発に遭い彼は没落していきました。
- 帝政以前の時代には**新古典主義**が流行し、**思弁的で線的**な絵画が流行しました。



アングル 《グランド・オダリスク》

次回の内容

- 次回からは**ロマン主義・リアリズム**
(写実主義) について扱います。ナポレオンの帝政のもと、新古典主義への反発から生まれたドラマチックな様式であるロマン主義や、ありふれた現実に美を見出した写実主義により、近代絵画は形作られていきました。
- 関連ワード
 1. ゴヤ『マドリード、1808年5月3日』
 2. ミレー『落穂拾い』



ミレー 《落穂拾い》